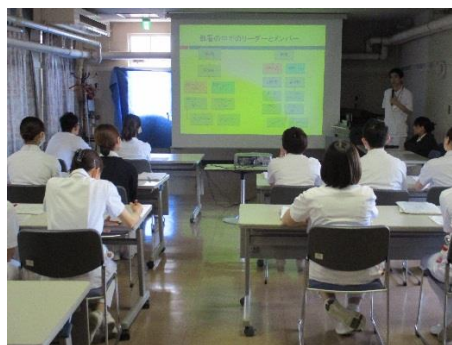




村山医療センターの看護師は、あらゆる職場で **いきいき** 仕事をしています！
今年度は、18名の看護師が採用されました。希望部署に配属され、元気に働いています。
院内教育の『看護実践講座』全9回が終了しました。学んだスキルを活かしていきます。



看護実践講座を熱心に受講しました！



2名にインタビューしました：「病棟にも慣れ、一人でできることも増えてきました。早く一人前になりたいと思ひ頑張ります！」と 明るい声と優しい笑顔が印象に残りました。
次号より、『いきいき先輩ナース』を紹介していきます。HPにも掲載します。お楽しみに！





リハビリテーション看護



私はリハビリテーション看護に興味があり、回復期リハビリテーション病棟に7年勤務しました。現在は地域包括ケア病棟に勤務し、自宅へ退院される患者さん、ご家族へケアの指導を行っています。看護していくなかで口腔ケアや摂食嚥下に興味を持つようになりました。

患者さんの食事場面の観察や適した口腔ケア方法をスタッフと協力しながら行っています。これからも学会や講習会に参加し新しい知識を習得して、口腔ケアの充実を目指します。当院は地域の専門職や家族向けに口腔ケア支援講座も行っています。食べること・飲み込むこと・誤嚥性肺炎を予防すること・口腔ケアに関して興味のある方は、是非ご参加ください。

河合 恵美



院内認定脊髄損傷看護師の取り組み Part1



私は『院内認定脊髄損傷看護師』として、病棟で勤務しています。

主な役割は、脊髄損傷看護のモデルとして、タイムリーに必要な看護が提供できる知識や技術を看護師に指導することです。残存機能を活かして、日常生活の再獲得と自立に向けて段階的に援助を行っています。在宅療養を選択した場合、ご自宅を訪問して車椅子が主体となる生活様式の再編を行います。退院後も自主リハビリテーションを行えるようにと家屋改修に参加したご自宅を訪問する機会がありました。

出迎えてくれた患者さんは、「退院前は不安だったけど、早く退院して良かった。」と話されていました。セルフケアと自主トレーニングを共に頑張った成果だと思いました。しかし、望み通りの回復に至らないケースもあり、将来に希望を見出せない方も少なくありません。私達は患者さんの心に寄り添い、共に退院後の生活に希望を見出したいと考えています。

照井 建夫